

ゆきしろみず

青森事業本部の桜
(2022年4月撮影)

主な内容

- P.1 ごあいさつ、表紙写真の紹介
- P.2 地質調査および周辺整備作業
- P.2 東通ヘッドオフィス計画および寮の増築について
- P.3 東通原子力建設所の紹介 連載企画その3
- P.4 地域の一員として
- P.5 「一般社団法人東通みらい共創協議会」の活動について
- P.5 東通村を知りたい

QRコードを使って♪アンケートに応募しよう!

ハガキ又はQRコードでお答えいただいた皆さまに粗品をプレゼントいたします。さらに、抽選で10名様に、本誌3ページ掲載の川村マネージャーオススメの山梨県笛吹市「桔梗屋」の焼き菓子「信玄桃」をプレゼントいたします。

当選者の発表は発送等をもって代えさせていただきます。

応募締め切り

2023年6月14日(水)



ごあいさつ

日頃より当社事業にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

私たちは、東通原子力発電所の建設をしっかりと進め、あわせて地域へも貢献していくことを基本に、事業を運営しております。

いまだ建設の見通しをお示しできる状況まで至っておりませんが、新規制基準の申請準備等を進めており、引き続き、全力で設計検討等の諸準備を進め、少しでも早く見通しをお示ししたいと考えております。

他方で、建設再開に向けて、新たな事務所や社宅の整備を進めており、昨年夏にはひとみの里家族寮と新小田野沢寮の増築工事に着工しました。また、ひとみの里エリアにおける新たなヘッドオフィスの事務所や住居・交流施設につきましても、本年8月に着工を予定しております。

私たちは、これからも原子力事業を進めながら、持続可能な地域づくりに貢献していくために、地域の皆さまとの対話を大切にし、信頼を第一に取り組んでまいります。

引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。



常務執行役 青森事業本部長

宗 一誠



東通原子力建設所長

太田 武



表紙写真の紹介



本号表紙写真のスポットを紹介します。

事務所敷地入口付近の看板横に植えられている桜です。

季節を感じながら仕事ができるよう、開花の時期が近づくと、立地地域グループのメンバーが交代で観察し、「うちのSakura日記」と題して職員に開花の状況を知らせています。青森事業本部に桜の開花を告げる「標本木」。お近くへお越しの際は、ぜひお立ち寄りください!



(2022年4月撮影)



私たちが観察しています!

左から藤間チームリーダー、甲田チームリーダー、井上メンバー、若佐メンバー、佐藤グループマネージャー、後藤メンバー

地質調査および周辺整備作業 ～2023年4月現在～

東通原子力発電所の1日も早い建設再開に向けて、引き続き地質調査を実施しています。また、最新の知見等をあらかじめ織り込んだ設計検討や建設エリア内における建物、設備等の配置計画の変更についても日々検討を重ねています。

●ボーリング(掘削)による地質・地質構造の調査

→敷地の地質・地質構造を把握するため、敷地高台エリアを中心に地下のボーリング調査を実施しています。

●試掘坑による地質・地質構造の調査

→2019年1月より試掘坑の掘削を開始し、同年5月からは人が坑内に入って、地下の調査を実施しており、現在も継続しています。

●敷地内での地震観測

→これまで敷地内で実施してきた地震観測に加えて、地下深く(約2,500m)に調査用地震計を設置し、地下深くからの地震の揺れ方の特性を継続して把握することにより、さらなる知見の拡充を図ります。

●発電所ヤード内での盛土造成

→建設するために必要な作業エリアを造成しています。造成にあたっては、敷地の中で発生した残土にセメントを混ぜることで、必要な強度を確保しています。



試掘坑内部

〈用語解説〉

◆試掘坑(しくつこう):地質調査のため、地中に掘り進めたトンネル

◆ヤード:作業場

東通ヘッドオフィス計画および寮の増築について

建設再開や原子力事業を進めていくにあたり、機能・人員等の更なる強化が必要となることから、計画的に諸整備を進めています。

●「東通ヘッドオフィス」計画

今年の夏に着工します!

→新たなヘッドオフィスの事務所や住居・交流施設(独单身寮)は、2023年8月着工予定、2024年12月竣工予定です。食堂やコインランドリー等、施設の一部は、地域の皆さまにもご利用いただけるよう計画しています。



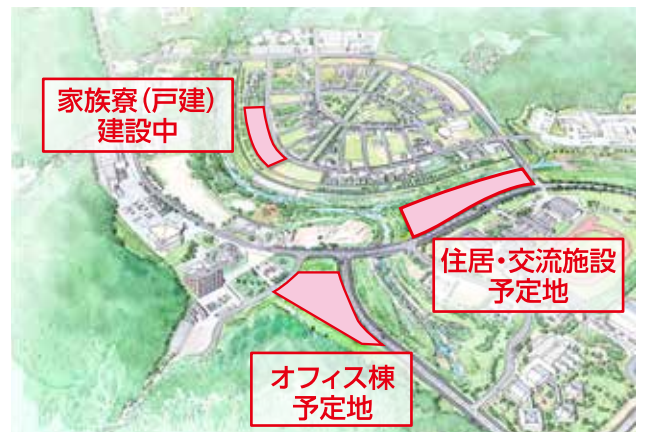
食堂



コインランドリー



ブックコーナー



●「ひとみの里家族寮」ならびに「新小田野沢寮」の増築

順調に工事を進めています!

→ひとみの里家族寮ならびに国道338号線沿い新小田野沢寮の増築工事に着工しました。

ひとみの里家族寮(2022年8月着工済。2023年7月竣工予定)

新小田野沢寮(2022年9月着工済。2023年8月竣工予定)



基礎工事の様子



外観



鉄筋工事の様子



外観

東通原子力建設所の紹介

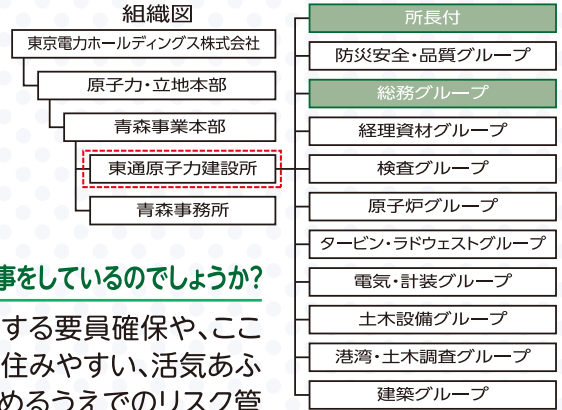
連載企画 **その3**



いしだ もりや
石田守也副事業本部長
兼副所長インタビュー

- 出身/福島県会津若松市
- 自宅/東京都江東区
(家族:妻、長女、次女)
- 趣味/ランニング、ゴルフ、旅行、料理
※社内ランニングクラブ、ゴルフクラブに所属

前々回から「東通原子力建設所」の業務内容や働く社員について紹介しています。第3回は、石田守也副事業本部長兼副所長にインタビューしながら「所長付」と「総務グループ」を紹介します!



Q. 東通原子力建設所ではどのような仕事をしていますか?

発電所で働く人の採用をはじめとする要員確保や、ここで働く方々が安心して働きやすく、住みやすい、活気あふれる環境の整備や、事業運営を進めるうえでのリスク管理等事業所内の一般管理系の幅広い仕事に携わらせていただいております。

Q. 東通村に住んでみて感じたことは?

私は山々に囲まれた盆地育ち。こんなに海に囲まれ、新鮮なお魚にありつける生活にとっても新鮮さと幸せを感じています。既にありませんが、実家が温泉旅館だったので、東通村の温泉施設をはじめ、周囲に温泉が多く、熱めの湯が私に癒しと幸福感を抱かせてくれます。また地元の方と和気あいあい飲むお酒は格別です。

Q. これからの目標や展望はありますか?

ほぼ国内では経験できない原子力発電所建設に携われることに幸せを感じつつ、世界に誇れる唯一無二の発電所づくりに微力ながら自分の足跡を残せるよう、できることをひとつひとつ積み重ねるよう努力してまいります。

<所長付の皆さん>



野坂メンバー 安齋次長 チームリーダー 伊藤

業務概要

建設所における一年間の業務方針やお金の計画等を立案し、定期的に進捗をチェックしています!また、建設所で働く所員のモチベーション向上や幸福度アップに向けた取り組みを実施しています!!

意気込み

安全を最優先に発電所の建設準備や日々の業務を進めてまいります!メンバー3名中2名は県内出身者で構成されており、地元を誰よりも大切に思い、愛し続けているグループです!!

業務概要

事務所職員が快適に仕事ができる職場環境の維持や社員の健康管理等を行っているほか、社員寮や社員食堂の運営管理業務を行っています。また、企業PR活動や採用活動も行っています。

意気込み

事務所職員が快適に仕事ができるようにサポートしていきます。また、最新鋭の原子力発電所建設と一緒に携わっていただける方の採用活動もがんばります!

<総務グループの皆さん>



上路メンバー 赤石課長 遠藤チームリーダー 金子メンバー 坂本メンバー 川村グループマネージャー 水上メンバー

安齋次長のつぶやき

～至福のひとつき～

大自然に囲まれた職場環境での勤務は長年の夢であり、念願叶って、やっと2022年7月に東通勤務となりました。休日は趣味の風景写真の撮影地を探し求め、県内を駆け回っています。発掘したお気に入りエリアでの撮影は至福のひとつきです!!



十和田湖



奥薬研

秋の十和田湖と奥薬研の写真です

※撮影のため、一時的にマスクを外しております

地域の一員として

「青森県ふるさとの水辺サポーター」活動による除草作業

2022年10月26日(水)～10月28日(金)にかけて、ひとみの里エリアの田名部川流域で除草作業を実施しました。



約250mの範囲で実施しました!



6班、延べ42名で実施しました!



一つの班だけでもこれだけの袋の山になりました!

※「青森県ふるさとの水辺サポーター」:地域の河川や海岸の保全を目的とした美化活動を行うボランティアを県が募集して認定する試み。

東通小学校部活動支援

2021年7月から、毎週2日間の予定で実施しています。



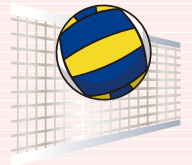
野球部



サーブ
行くよ～



バレーボール部



1. 2. 3
ハイ!



バスケットボール部



吹奏楽部

東通小学校「環境・エネルギー教室」

2023年2月8日(水)と2月15日(水)の2日間、4年生と5年生を対象とした「環境・エネルギー教室」を開催しました。

4年生
(2月15日) 静電気で浮遊するクラゲや太陽電池・果物電池の
実験等を通じて、電気のしくみを学びました!

5年生
(2月8日) 手回し発電機を使った実験等を通じて、様々な
発電方法を学びました!



用意ドン!

※新型コロナウイルス感染防止対策をしたうえで実施しております

「一般社団法人東通みらい共創協議会」の活動について

●事業内容

1. 東通村の安心・安全な暮らしに資する事業
2. 東通村の教育・健康の発展に資する事業
3. 事業者が事業を行うために必要なインフラ整備に資する事業
4. 東通村の産業の発展につながる事業
5. その他目的を達成するために必要な事業



防災行政無線



こども園通園バス



寒立馬保護対策

〈主な協力事業〉持続可能な地域づくりをめざして!

- ・防災行政無線整備への支援 ・出産費用助成への支援
- ・こども園通園バス運行、高等学校生徒通学への支援
- ・避難所利用も可能な多目的集会施設整備支援 ・寒立馬保護対策事業への支援
- ・農産物加工センター保守管理への支援 ・ふるさと納税返礼事業への支援

〈一般社団法人東通みらい共創協議会とは?〉

2021年3月19日に、東通村と当社が共同で設立した協議会で、持続可能な地域づくりや当社原子力事業の基盤整備につながる事業に貢献するとともに、東通村の持続的で豊かな未来を創造していくことを目的としています。



※一般社団法人東通みらい共創協議会の詳細についてはこちらからご覧いただけます。 higashidoori-mirai.or.jp

東通村を知りたい 「はくむ」人にクローズアップ!!地域で頑張っている方を紹介します。



東通村地域おこし協力隊
かめおか たかし
亀尾 番さん

Q1. 簡単にこれまでの経歴と東通村に移住してきた経緯を教えてください。

弘前市出身。弘前大学卒業後、同大学院へ進学。大学院生としての今後や就職について、学部生時代に参加した共育型インターンシップでお世話になった方に相談したところ、東通村の地域おこし協力隊の募集を教えてくださいました。一度東通村を訪れたところ、募集内容や今後の課題について詳しく教えていただきました。すぐに東通村で活動してみたい気持ちが強くなり、大学院を退学して移住することを決めました。2023年1月から東通村に住んで、一般社団法人東通東風塾のメンバーとなり地域おこし協力隊として活動をしています。

Q2. 地域おこし協力隊とはどのような制度ですか?

地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や、住民支援等の「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取り組みです。自治体が移住者やUターンした若者らを隊員に委嘱し、任期は概ね1年～3年です。

Q3. 日頃、どのような取り組みをしているのでしょうか?

「わんつCAR」という買い物支援車で村内全域を回り、移動販売をしながら高齢者に声をかけ健康状態を確認する等の見守り活動を主軸として取り組んでいます。移動販売というと、ただ商品売っているというイメージかもしれませんが、私たちの取り組みは地域の方々とのコミュニケーションを取りながら、近隣住民がつながる場を作り、その中で買い物に困っている方を支援するという目的で「買い物支援車」として活動しています。



Q4. 最後に、今後の展望は?

「わんつCAR」については、取扱品目や運行ルート等まだ改善できることがたくさんあるので、地域の声を聞きながら取り組みたいと思います。そして、一般社団法人東通東風塾としても地域の活性化につながる企業として成長できるよう頑張りますので応援よろしくお願いいたします!

編集後記

本号の編集を担当しました江寺(えでら)と申します。2021年10月から広報グループに勤務しています。休日は趣味のドライブを楽しんでいます!どうぞよろしくお願いいたします。(江寺)



※撮影のため、一時的にマスクを外しております